

議会だより

創刊号

2月・No. 1

発行責任者：南魚沼市議会議長 駒形正博

編集：議会広報編集特別委員会

（大崎地域から臨む冬の八海山）



ようこそ 南魚沼市へ!

風評被害に観光業者も必死の対応

塩沢町との

合併協議会設置を議決… 2 P

こんなことが審議されました… 4 P

震災被害・

3 常任委員会が調査… 6 P

25 議員が新市政に熱弁… 8 P

— 一般質問から —

特集

塩沢町との合併

どうする？ どうなる？

— 22 ページ —

あれはどうするの？

これはどうなるんだ？

市民の関心の高いホットな話題を、わたし達2人が分りやすく解説します。

お六（樋口与六）



現・南魚沼市坂戸が生んだ戦国の智将「直江兼続」の、若者時代の通称、新聞小説『天地人』の主人公として、全国13の地方紙で知名度が急上昇中。



サザン・フィッシュスワン

国際大学で日本の地方政治を学ぶ留学生。父親はヨーロッパ某国の大臣らしい。高校を2年、大学を3年で終了した超才媛。お六と同年齢の20才。

塩沢町との合併協議会（法定）設置を議決

12月定例会より

（会期12月15日～22日）

平成16年12月議会は南魚沼市となつて初めての定例会として、15日に招集されました。8日間の会期中、一般会計など、合併後17年3月31日までの各会計予算10件、条例の制定改正など5件、その他15件を審議し、いずれも原案どおり可決されました。

また、議員発議による「市町合併調査特別委員会」の設置と「市長の専決事項」の指定、そして意見書の提出6件が審議可決され、1件の請願を採択しました。

以下におもなものを説明します。



12月定例会で決まったこと

一般会計予算

118億3千万円

11月1日から16年度末までの予算が決定しました。基本的には、旧2町の予算残を合わせ、それに新しい仕事を加えたものです。

（1万円未満は切り捨て）

主要事業、新規事業は

- ・住民票等自動交付機 9,400万円
- ・八海山麓に「はな苑」をつくる 1,230万円
- ・合併振興基金積み立て 14億7,140万円
- ・地震対策、中小企業貸付預託金ほか 1億3,700万円
- ・広域有機センター建設 4億6,335万円
- ・電算システム統合 1億9,575万円
- ・中越地震等災害復旧関係 1億7,330万円
- ・大巻中学校体育館建設 2億8,910万円
- ・大和インターアクセス道路建設 3,704万円
- ・宮保育所建設 8,950万円

市長 施政方針

(抜粋)

「中越大震災」
10月23日夕に、突然発生した大地震により、亡くなられた方々に対して、



井口市長

謹んでお悔み申し上げます。被災者の皆様には、心からお見舞い申し上げます。国県に働きかけ、市として最大努力で早期復興、生活の安定を図るべく、住民の皆様と共に進めてまいります。

「新市誕生・初代市長に」
南魚沼市誕生にあたり、初代市長選挙に立候補致し、政治信条と公約を掲げ、支持をお願いしたところ、無競争当選の栄に浴しました。
11月28日から4年間、新市の運営を担わせてい

ただくことになりました。よろしくお願い申し上げます。「やすらぎ」「潤い」「癒し」の実感できる「地域完結型」市制に取り組みます。安心して住める市づくりは、市民の健康、出産、育児、老後等の環境整備および、教育の充実を目指します。

「塩沢町との合併」
11月30日、塩沢町から正式に合併への申し入れがありました。特例の効力が、17年3月31日ということで、それまでに廃置分合の決議の協議を進めたいとの意で、今議会にて法定協議会設置を審議いただき、対応する所存であります。

平成16年度

特別会計予算、 事業会計予算を承認

(1万円未満は切り捨て)

< 事業会計 >

水道事業会計	
・ 事業収益	7億 538万円
・ 事業費用	7億4 243万円
病院事業会計	
・ 事業収益	16億9 ,128万円
・ 事業費用	16億9 ,128万円



< 特別会計 >

揚水設備維持管理特別会計	1 399万円
国民健康保険特別会計	19億1 475万円
介護保険特別会計	13億6 ,148万円
老人保健特別会計	20億2 961万円
下水道特別会計	17億6 893万円
観光施設特別会計	6 971万円
訪問看護特別会計	4 310万円

新市の特別職等を承認

助 役	井口章一郎	昭和17年生まれ	五箇	旧大和町助役
収 入 役	戸田 統一	昭和18年生まれ	美佐島	旧六日町収入役
監 査 委 員	広井 庄一	昭和16年生まれ	上原	元J A魚沼みなみ常務
教 育 長	遠山 正雄	昭和22年生まれ	余川	旧六日町助役
教 育 委 員 長	升 茂	昭和3年生まれ	東京	元北里学院長
選挙管理委員長	西野 一	昭和14年生まれ	五日町	旧六日町選管委員長
固定資産評価委員長	高橋 仁	昭和12年生まれ	六日町	旧六日町審査委員長

印は、各委員会の互選により決められました。

訂正：監査委員は 広井正一（昭和17年生まれ 上原 元J A魚沼みなみ常務）
選挙管理委員長は 種村哲夫（昭和13年生まれ 水尾 旧大和町選管委員長）
の誤りです。訂正するとともに、関係者に深くお詫び申し上げます。

とが審議されました

E T C車専用インターの設置について

問 まだE T C車載器を取り付けている車が少ないが、E T C利用のスマートインターより、一般インターを設置したほうが良いと思うがその考えはないか？

答 今後、E T Cを備えた車は増えると考えます。
また、大和地区のスマートインターは1日200台の利用を予定している。そのためにも市民の皆さんへE T C取り付けに対して、補助金を1台あたり5,000円、450台分を用意している。
是非利用してもらいたい。

スマートIC

E T C専用のインターチェンジのことです。コンパクトに設置が可能なスマートICは、施設の規模や設置費用、管理費が大幅に削減できることからICの設置が容易になります。



第1回合併調査

特別委員会開かる

第1回合併協議会（法定）の協議内容について、新市の方針を審議するために、1月6日午後、第1回の「議会合併調査特別委員会」が開かれました。この委員会は、議長を除く議員43名で構成されます。

主な審議内容を次に挙げました。

問 「説明資料」予算62万円の使い途は？

答 塩沢町での住民説明会用のもので、新市での説明会は不要と判断している。

問 新市でも塩沢町との合併は周知されていない。是非住民説明会を開くべし。

—— 同主旨の意見・多数あり ——

答 正・副議長、正・副特別委員長を含め開催の可否を検討したい。

問 「編入合併」でありながら、塩沢町の農業委員定数15人は多過ぎないか？10人程度で充分と思うが…。

答 法定協議会の場で、委員長が意見の主旨を報告する。

12月定例会では こんなこと

病院会計 ゆきぐに大和病院

問 医師不足が悩みだが、秋山前大和町長から「ゆきぐに大和病院」の顧問に就任してもらい、医師不足の解消に尽力いただけないか？

答 秋山前大和町長が、12月1日より顧問に就任し、医師不足の解消に全力を注いでもらっている。
特に整形外科医と小児科医の確保が、緊急の課題だ。

水道事業会計

問 合併時の未収金が多いが内容は？
また、旧大和町と旧六日町のそれぞれの金額は。そして、その滞納者は個人か事業者か？

答 旧大和町が約620万円で、個人がほとんどであり、旧六日町は約1億円で事業所が多い。
また旧六日町については、未収金の回収について専門の嘱託員に委託し、早期の回収に努めていて、未収額の縮小に効果を上げている。

**等の審議があり、賛成・反対討論がありましたが、
賛成多数で原案通り可決されました。**

総務文教委員会

最大被害は浦佐小

○期日 11月19日

○調査内容

小・中学校被害調査

中越地震による小・中学校の被災状況を、11月19日、被害額の大きいものを中心に、現地調査を行いました。

六日町小学校
H12年の建築、耐震構造だが各所にひび
六日町中学校
本体の被害は軽微、周りの地盤が50cmも沈下。
北辰小学校
校舎・廊下の防火耐震接合部の破損。
大巻中学校
武道場の外壁・天井の破損。 ↓



これが剪断破壊

浦佐小学校
ガラスブロック破損、特別教室の屋上接合部破損と柱脚に剪断破壊。
浦佐幼稚園
北側外壁脱落、西側外壁剥離。
大和中学校
内壁各所に割れ目、トイレのタイル剥離、渡り廊下内壁剥離。

産業建設委員会

活かそう

中越大震災の教訓を

○期日 11月17日

○調査内容

公共土木施設および観光施設等の被害調査

中越大震災に対して、公共土木施設（道路、河川等）、および観光施設等の被害状況について調査を行いました。

公共土木施設の被害
旧六日町、旧大和町地区合わせて5億1千万円程度発生したが、ほぼ応急復旧を終了しています。

農林業被害
林道と農業施設を含めて40か所ほどあり2億円ほどの被害であります。 ↓

観光施設被害

2億3千万円ほどの被害申告がありました。予約のキャンセルは地震の翌日から入ってきて約5万8千人で5億円、また商工業で2億円の被害が発生しています。以上の報告を受け執行部との間で活発な質疑が行われました。被害状況、金額については地震発生時のものであり、今でも風評被害等でキャンセル、新規予約の減少で深刻さを増しています。

社会厚生委員会

病院に人的被害なし

○期日 11月18日

○調査内容

病院施設等の被害調査



城内病院で説明を受ける

せん断破壊と曲げ破壊
地震が起きると、建造物の柱や梁（はり）を曲げようとする力と、二つに引き裂こう（せん断）とする力が同時に働く。曲げによる破壊の場合、柱には水平のひびが入り、上下方向に少しづつぶれるが、建造物が崩壊する危険は少ない。せん断による破壊の場合は柱に斜めに亀裂が入り、亀裂より上の部分が梁やけたこと落下する危険がある。



北辰小学校体育館

質 疑

- ・児童生徒が受けた心の傷とカウンセリ
 - ・臨時休校の欠課時数の回復
 - ・体育館の天井が落下、避難所としての適否
 - ・被災建物の積雪に対する処置
 - ・校舎、体育館の耐震性の調査状況
 - ・等について調査しました。
- （委員長 牛木茂雄）

今こそ新市4万5千人が一体となって災害に負けない強い市を造っていかねばなりません。
（委員長 若井達男）



林道浅沢線の崩落（五日町スキー場 奥）

城内病院、ゆきぐに大和病院、県立六日町病院を訪問し、大震災の影響を調査してきました。

3病院とも建物にはタイル剥離はありましたが大きな被害は受けませんでした。人的被害も「心的被害」はわかりませんが患者等のケガはありませんでした。

人的被害がなかったことが一番の幸いですが、その要因として、看護師の日勤・準夜勤の交代時にあたり、職員が大勢院内にいたこと、また、その職員の冷静な判断、誘導等があげられます。特に城内病院においては、「防災協力員」3名の力が大きかったと聞きました。

大和病院においては、自家発電装置により停電もなく平常どおりでした。

県立六日町病院においては県立十日町病院の被害が大きかったことにより、その補充病院として大きな役割を果たしました。

旧八色園には堀之内町の特養「うかじ園」の方々が全員引越してきました。

（委員長 種村俊夫）



今後の防災訓練も 見直せ



答 自衛隊の協力を得て

南雲淳一郎 議員

10月23日夕刻、中越地震が発生し、各地に大きな被害を起こした。南魚沼市においては、最大震度6弱、死亡者1名、重軽傷者17名、その他建物道路等に被害があった。

今回の震災を貴重な体験として今後の防災計画に生かしていかなければならない。このことは我々の責務だ。以下の項目について見解を伺う。
防災計画の見直し
情報源の確保
市役所に自家発電設置
防災訓練の見直し
消防団員の確保
自助・共助の重要性
十分な検証



防災訓練に自衛隊も参加
(旧大和町)

問

合併によって非常に広域的になり今までとは違った対応が必要だ。また少子高齢化、社会構造の変化、災害弱者への対応、そして、電気、水道のライフラインに考慮していく。
非常電源は、新年度予算で対応。発電機、行政防災無線、衛星電話、FM・NHKラジオ部門との連携を図る。地震災害も想定し、FMの中継、自衛隊の協力も得る。
消防OBとの協力関係を築きたい。
に基づいて計画を作る。問題点を早急に洗い出し、防災計画の中に生かす。

その他の一般質問

ここに掲載するほか、次の質問がありました。

(質問順)

- 駒形 興一 議員
ご飯による朝食を子供たちに
- 大久保栄一 議員
地震対策について
- 危険管理対策室の必要は
- 関 忠良 議員
新市建設計画について
- 中越地震被害調査及び罹災証明の発行と市としての支援について
- 米の生産調整、地域間調整について
- 笠原喜一郎 議員
「新潟中越大地震」の教訓をどう生かすのか
- 和田 英夫 議員
17年度予算の考えは
- 岡村 雅夫 議員
二つの市民病院について
- 笠原 幹夫 議員
防災計画の見直しについて
- 中沢 俊一 議員
学力低下が露呈。新市教育に「学園都市」機能をどう活かす
- 石原 健一 議員
踏切の遮断機設置はどうなったか
- 片桐 貞夫 議員
景気対策について
- 松原 良道 議員
防災対策について
- 小島 正明 議員
市民満足度の数値評価について
- 人事評価制度の研究
着手について
- 岩野 松 議員
図書館の図書費(資料費)は増額できないのか

大災害、ポイントは「初動」マニュアル



◎ 有事想定し工夫重ねる

遠山 力 議員

今回の大地震で、当地の揺れがもうすこし強かったら、避難所に直行する人、家の中に閉じこめられる人、外にうづくまる人、それに、自家用車に乗って、それぞれの考えの所に行く人も多く、安否の確認が非常に難しくなっただと思われる。

市民自らの力で、地域の安否確認と報告、救出などができるよう、マニュアルを作らないか。そして、そのように動かれるよう、毎年の防災訓練時に全市で、実地訓練をしていくべきと考えるが、市長はどう考えているか。

市長

大地震にもかかわらず、六日町では、迅速に区長、消防団員、職員が一体一丸となって行動できた。人身の保護、安全部分では訓練が生かされたこと、評価している。問題点が全くなかったわけではないが、検証しながら改善していく。地元の訓練見直しは、毎年確認をしなければならぬ。

実態に即した部分を想定し、有事に機能する方向付けをし、工夫を重ねながら改善する。情報伝達は、携帯電話、衛星携帯、行政防災無線等を活用していきたい。



訓練も地域が主役の時代
(浦佐・天王町)

若井 達男 議員



中越大震災に伴う地域防災計画の見直しと震災対策を市長に伺う。

国は阪神大震災後、防災計画の修正や地震に特化した計画策定を市町村に指示していたが、平成2年よりいまだに実施されていない。以下を問う。情報網の整備計画は。

公共建築物の耐震、免震の調査および施工を。地震発生時の液状化現象の調査および対策は。飲用水、食料、防寒具の確保および備蓄計画は。避難場所の指定、確保と周知徹底を。事前の復興対策と姉妹都市との防災協定は。

液状化現象に

対策あるか

◎ 地盤沈下と併せ、担当設ける



液状化で階段がむき出しに(本庁舎)

市長

行政防災無線、衛星電話、ラジオを活用し、有効な組合せで収集と指示がきちんとできるように。

新基準は昭和56年以後で公共物の半数は基準前。耐震対応も防災計画で。地盤沈下対策と併せて特命担当をはりつける。

食料、水はメーカー等と協定したい。毛布500枚、防寒着100着等備蓄した。震災、風害、水害等各々の避難場所が必要。新防災計画の中で検討する。姉妹都市2市1町と項目ごとに定めて、協定を結んでいる。事前の復興対策を防災計画で位置づけたい。



大久保 栄一 議員

県央地方を記録的な豪雨が襲った7・13水害は、甚大な被害を出した。市の水防対策に貴重な教訓として生かすべきだ。

当市には魚野川水防警報発表基準観測点は1地点である。橋脚を利用した水位表示等で、地域と共有した観測はできないか。

三国川ダムは、洪水調節時に多目的運用が有効に機能しているか。中越大地震で、市内河川、堤防等の損傷状況の把握と認識を伺う。消防団活動は水防に不可欠だが、高齢化、充足率の低下を危惧する。

水防対策、橋げたに水位の目印つけよ

答 国・県への要望を急ぐ

市長

魚野川の橋脚に、水位目安の印をとの提案は、早速、国・県に要望していきたい。

魚野川、水無川の亀裂については、担当と協議し、安全について、国・県と話していく。消防団員の確保については、苦慮している。雇用主と調整も含めて団員数の確保を図っていきたい。



増水した魚野川（平成10年今町新田附近）

被災者の食料、どう確保する



片桐 貞夫 議員

答 メーカー、量販店との協定が現実的か



市の防災体制を問う。従来の指定避難場所の使用不可能。この点は行政区に対して、情報の徹底をどんな対応があるか。

避難者に対して、食料を始めとする対処のあり方は。防災体制の見直しに、職員の中にも被災者が出ることも考えた体制作りが必要と思うがどうか。

市長

指定避難場所が状況によって使えなかった所もあった。今後災害弱者が一刻も早く安全な場所に避難できるように防災計画をきちんと作る。

地理的に区分して防災無線、衛星電話を設置する。またFMゆきぐにと災害時の割り込みなど、連絡体制を確立する。飲料メーカー、大手スーパーとの協定が一番現実的かと考えている。職員のローテーションを組み、防災体制を作ることが課題である。

職員の体制については、もう一度きちんと見直そうと思う。

FM放送への 「災害割込み」活用せよ

〔答〕 契約に向け、対応進める

岩野 松議員

今まで経験したことのない地震、余震。どこに逃げてよいか。災害時の避難場所が適応しなかったり、情報が住民まで届かず、不安の中での一夜、たよりは車のラジオや携帯ラジオだった。

当地にもFMゆきぐに放送がある。割込み制度契約をし、瞬時に市からの情報伝達できる仕組みを活用せよ。各区長に携帯ラジオを常備させるべきである。

停電対応できるように、自家発電装置を設置するのは当然である。

市長

FMゆきぐには、割込み契約をするべく、話しを進めてきた。このことは、本当に重要なことなので今後、きちんと対応していく。

情報伝達や収集が少しでもスムーズにいくよう、行政区を地域割りして、防災無線あるいは、衛星電話を配備する準備をすすめている。

また、本庁舎に自家発電装置を導入すべくすすめている。



被災地十日町での臨時放送局



岡村 雅夫議員

災害が起きてからの対応も必要だが備えも必要だ。研究者の調査報告を参考に防災計画をたてよ。

市民の安全と財産を守るには住宅の耐震診断・耐震補強を制度化し啓蒙すべきだ。木造では壁量の不足・偏り、接合部の不備の建物が損傷した。

市税・国保税の減免条例ができたが被害認定基準と差があり対象者が狭められた。検討不足だ。固定資産税の減免も必要だ。特に事業者のなかには不況のなか予期せぬ出費は大きなダメージだ。苦しい所ほど相談業務を強め、斡旋・保証が必要。

住宅の耐震診断・補強へ

市の制度化急げ

〔答〕 個人財産への介入は疑問残る



隣接4戸が解体移転した(大巻・押出地内)

市長

災害に強い市づくりを、専門家の意見を参考にし、防災計画を見直していきたい。

個人財産への免震、耐震診断、補強の点については、不可能ではないが、制度化になじむか、財政面もあわせて検討する。市税、国保税の減免は、

納期のくる部分で、充分相談に応じる。

固定資産税の減免も、被害状況に応じて対応する。いずれも基準は、被害割合20%以上だ。

事業者への融資制度は、県の信用保証協会と損失補償契約を実施。総枠5億円だが、市税の滞納がないことが条件だ。



早急に自治体計画を 策定すべし

総務

◎ 総合計画審議会など、16年度中に

樋口 和人 議員

今議会の市長施政方針の中に、総合計画の策定は、塩沢町との合併の動向が決まり次第検討を開始する」とあるが、新しい自治体の誕生のこのとき、まちづくりの基本方針を広く市民に知ってもらい、市長がどんな行政を目ざし、どういったまちづくりをしていくのか早く理解してもらおうことが大切と考える。



市長

16年度中に、総合計画審議会、あるいは、大和地域の地域審議会を立ち上げたい。塩沢町との関連もあるが、南魚沼市の今後の方向性を示さねば、市民に申し訳ない。

「自然・人・産業の和で築く安心のまち」をキャッチフレーズに、市民、議会、職員が一体となって、一日も早く新市の新しい姿を知ってもらおう。

計画策定は、一番重要なことであり、全力をあげて取り組んでいきたい。

以上を踏まえた上で、

総合計画・実施計画・防災計画・土地区画整備計画といった自治体計画を早急に策定すべきと考えますが、市長の考えを伺う。

「復興シンポ」呼びかけ 魚沼再生の舵をとれ



◎ 時期を見て、リーダーシップ発揮

中沢 俊一 議員

震災地の大半は魚沼圏にある。当市に塩沢町が加われば、人口6万3千余り。関東への表玄関という地勢からして魚沼復興の舵を取る責務がある。スキー観光衰退の中で巨額の風評被害を克服するには、マスコミで流された大量の被災地情報を逆手に取り、体験観光の柱にする発想が必要だ。南魚沼市は「魚沼コシ」発祥の地。市長は圏内の市町村に働きかけ、地震終息・復興シンポジウムを開催せよ。数千人にも上る震災ボランティアは、「ふるさと魚沼」再生の強力な応援団となり得る。

市長

「えちご魚沼観光開発協議会」のなかで、行動をおこし、風評被害の払拭に努めている。魚沼圏域連合を提唱し、震災復興のバネにせよ」は総論的には非常にいいことであるが、今簡単に「実行する」ということにならないのが私の見解である。

近隣の各自治体の長とも相談をし、ある程度落ち着き、そして立ち上げる時期を十分検討しながら、その時は極力リーダーシップをとってやっていきたい。ボランティアの活用はそうだと思う。

「ふるさと魚沼」再生の強力な応援団となり得る。



全国から大勢のボランティアが



新市をどう導く

答 市民参加のまちづくりにも意欲

種村 俊夫 議員

住民投票等、大きなエネルギーを費やして出発した南魚沼市。今後の方向性については初代市長に大きな責務がある。「新市将来構想」においては、新市のあり方に多くの提言をしている。多くある公共建物の民間委託等による有効活用。職員の専門化、プロ意識化。給与の能率給化。事業評価システムや、市民満足度調査による財政運営の効率化。総合計画策定にはポトムアップ型で積極的な市民参加を。地域工ご等にとらわれない公平な行政運営と情報の透明化等、市長の目標と方向を伺つ。

市長

公共施設の維持管理コストの縮減を図るのは当然だ。民間的な発想や活力の導入を極力進める。職員のプロ化とプロ意識は、市民のために働くのだ”を徹底させることから始めていきたい。一定の時期に達したら、プロ化を図っていく。給与の能率給化は非常に難しいが人事評価、事業評価システムの構築には行政評価係も設置した。市民参加型のまちづくりは、もちろんポトムアップも必要、時にはリーダシップも必要と思う。公聴活動を通じて公平かつ公正な市政を運営する。



本庁舎「総合市民課」窓口



志太 喜恵子 議員

市長の公約の中に掲げられた「男女共同参画社会」の具体的政策を伺う。施政方針に当然あると期待したが、予期しない地震災害で後回しと受けとめる。日本は、戦後経済の高度成長により、女性の社会進出が必要とされたことで、この法律が成立した。

同じ人間である男女がお互いに助け合つて、家や社会のことも進めて行くことという主旨を、どう市民に広め根づかせるか市長の考えを伺いたい。窓口の社会教育課に専門職員が必要と思うが市長はどういう方策か。

男女共同参画、

どう根づかせる

答 女性の積極的な進出を望む



市長

合併時の事務調整を経て新市では社会教育課が担当する。旧六日町では15年度、役場職員全員に対し、アンケート調査をした結果待ちである。後回しにしていない。

女性の社会進出は積極的にお願いしたい。尊敬の念や感謝の念を持ちながら、これから男女共同

参画について進めていきたい。偏見の目で見ないように願いたい。

「男らしさや女らしさ」というものがあって然るべし。「男だから女だから」ということが問題であると認識している。社会教育課単独でこの問題をあつかうことは無理。



森山 幸子 議員

20世紀は「戦争と暴力の世紀」といわれた。

あらゆる分野で古い価値観から新しい価値観へ、大きな転換を迫られている。これからの社会の進むべき方向は、男女の特性を最大限に生かし、真のパートナースhipの時代を築く必要がある。

「男女共同参画社会基本法」が施行されて5年、法が実効性のあるものと、平成9年初議会以来7年間、一貫して、一般質問等を通し取り組んできた。

新市誕生を期に「女性行動計画」策定事業に着手すべきと思う。

「女性行動計画」

着手すべし

〔答〕 準備会の立ち上げ、17年度に

市長

法律等も施行され、男女共同参画ということに
取り組むことは、自治体の責務である。

市としては地域間における職場やいろいろな機関、団体、家庭等の横

つながりを、どうミックスさせるか、行政が責任を持って進めていくべきだと思つ。

関係機関や団体等の準備会を、17年度中にきちんと立ち上げる。



課長昇進は職員の投票で



松原 良道 議員

今、何が住民ニーズでどう応えるのかとの視点を持ち、職員自らが自分たちの職場をつくっていく必要がある。市長や上司に、「言われてからするのでは駄目」。

これからは積極的に住民サービスをするよう、特に職員の意識改革が強く求められている。その一例として課長を職員投票で選ぶ制度を導入してどうか。

投票で選ばれたことによる緊張感と投票したことによる責任感。

双方の職員をどう刺激するか、その波及効果はかなり大きいと思つが、その考えはあるか。

市長

「市民のために働く。市民を慮げたり欺いたりしてはならない」ということを強く職員に指導をしているが、そういった意識の欠如があることも耳に入ってくる。

今後、新しい人事評価システムを確立していくなかで、指摘された投票制度の効果や課題等も検証したい。私自身の責任において、市民の皆さん方が納得できるように自分から積極的に仕事に取り組むことのできる職員となるようつとめていく。





気鋭の職員は 外部研修で育てよ

◎ 国際大学での育成も一案か

小島 正明 議員

行財政改革に民間的経営管理を導入し、効率化、活性化を図る取り組みが広がっている。地方自治法の精神に基づき、最小のコストで最大の効果を上げるための経営戦略が必要である。そのために公務員には大きな意識改革が求められ、本気で行財政改革に取り組める人材の育成が必要である。

そこで民間的経営管理手法や、その応用技術を習得すべく、やる気溢れる職員を抜擢し、2年間位かけて専門機関での研修や、民間企業での実務研修などを行い、人材育成を図るべきと考える。



市長

今の職員研修は、法律的な部分が主である。そんな中で、専門機関、あるいは民間団体、民間企業等に出向させるというのは非常にいい手法だと思ふ。

個人的には、国際大学で国際的な視野を広めてくれるというようなことも必要と考えている。

市民の皆さんのために奉仕をする職員、その職員の意識改革と、人材の育成に向けて、財政的にも人的にも厳しい折だが、なるべく早く制度を確立して実現に向けて検討していく。

関 忠良 議員



自民党は来年11月までに現憲法を改め、新憲法制定するという推進本部を立ち上げた。民主党、公明党も、「創憲」「加憲」といつて改訂の検討を進めている。

発表された憲法調査会の改訂草案は、軍隊の設置と集団的自衛権の行使、国家緊急権や軍事裁判所の創設、国民の国防のギム等々、現憲法の前文や第9条の精神を正面から否定する内容だ。地方自治や教育基本法の要である現憲法改訂の動きをどのように認識されているか、市長の見解を伺う。

憲法改訂は

地方自治を脅かさぬか

◎ 大きな影響はないのでは



市長

今の憲法が悪いとは思わないが、永遠不滅のものとも思っていない。

第9条については、全く軍隊を持たずに国が守れるかという危惧は残る。

集団的自衛権も、日本だけがそれを行使しないということではいけないと

いう気もしている。

憲法改正によって地方自治法がどう変わるかは読み切れないが、大きな影響があるとは思わない。

軍隊を用いて、どんどん戦争をしるなどという考えはないので理解して欲しい。



「三位一体」の改革で 市の財政狂わめか

答 特例債にも優先順位つけて

笠原 幹夫 議員

政府は三位一体改革の全体像を示したが、補助金は17、18年度で2兆8千億円余の削減。税源移譲は2兆4千億円余だ。地方交付税は総額確保というのみで、地方六団体も共同声明で「課題先送り不十分」と批判している。また春に合併した佐渡市では今後10年間で74億円の歳入不足が生じ、新市建設計画は破綻し、全事業の見直しを迫られている。これは同市の合併特例債事業の総額685億円を大きく上回っている。当市も合併時の説明と計画が狂ってくるのではないかと伺いたい。



市長

三位一体改革財政案は、末端町村には話もなく、ドーンと出てきた案だ。地方六団体の出す案については、これから末端市町村の意見も入れるよう申し入れて行く。財政シミュレーション、特例債の活用は、新規のものも出てくるが、すべての事業が特例債を使っているものではない。優先順位をつけて、10年間のうちで実施する。財政計画はきちんとやっていく。実施計画は3年ごと。佐渡市のように大合併でない南魚沼市は、堅実に、シミュレーションどおり歩を進めていきたい。



清津川水利権に どう対処



答 県の斡旋がカギか

中俣 誠 議員

清津川水系の水は、清津川に返せという運動が中里村を中心に起きています。

清津川の水利権は、大正3年から90年の歴史の中で、発電に農業用水に利用されてきた。そこで次の点について市長の考えを伺う。

国交省・東京電力㈱・土地改良区・漁協・中里村との交渉の経過について。

清津川の生態系を無視して良いとは言わないが、今さら全量返せは理に合わないと考えるが。

今後どう対処していく考えか。

市長

水利権については、元々魚野川の流量として取水し、西部開田等の事業はその水利権を前提とした事業であって、これを「全量返せ」という話は理不尽だ。11月末日に東京電力㈱および国土交通省北陸地方整備局から説明を受けているし、土改の理事長とも話しを進めている。中里村の村長とも交渉しているが新潟県が中に入って斡旋していくことが大事だ。これからも理不尽なことに負けないで「私達の水は私達で確保する」という立場で行動したい。



西部開田は、この水利権が原点
(昭和30年ごろ)

子育て支援を 学童保育の強化で



◎ 10人未満のクラブ、協議会と連携しては

駒形 興一 議員

少子高齢化が叫ばれ久しくなる。今、一人の女性から1・27人の出生まで下落してきており深刻な問題と考える。

子育て支援策は、誕生祝金、妊婦・乳幼児への医療助成、保育関係等ある程度予算化されているが、今後更なる支援強化が図られるべきと考える。特に核家族化や共働きの増加による学童保育のニーズは高まっている。子供を巡る危険な世相の中、家から近い所での設置が望まれており、県の補助基準に満たないクラブも今後増加してくる。市として公平なサービスを求める。

市長

学童保育については、時代の流れであり、学童数は増えないが、希望は増えていくと思われる。

市の子育て支援の大きな柱の一つとして、一生懸命対応していく。

県の補助金を受けられない10人未満のクラブについては、学童保育協議会と連携をとって、対応するのがよいと思う。

場所が移動することによる、安全対策、送迎等の問題もあるが、県の補助制度をうまく活用する方法として検討している。難しい問題だが真摯に受け止め、いろいろな面で対応していきたい。



子どもは雪の子！
(三用・太陽クラブ)

和田 英夫 議員



市長は4万5千人市民の生命財産を守る責任があると云われた。火災、自然災害、病気、犯罪から市民を守るのだと思う。近年全国的に凶悪犯罪が多発し、特に幼い子供たちが虐待、誘拐、連れ去り事件等、悲しい事件が多い。少子化の時代子供たちが安心して過ごせるために、保育所、幼稚園、小・中学校での対策は、特に総合学習で心身を鍛える武道的授業は可能か。児童虐待で市の相談窓口は、関係機関と地域での防犯体制は、特に地域での防犯ボランティア対応等、市長の所見を伺う。

幼い命、

自ら守る教育を

◎ 学校での武道教育、強要できぬ



市長

今の子供たちは忙しく、犯罪にあう機会も多い。防犯ブザーを各児童に持たせるとの提案もあったが、それとも民家のまばらな周辺部では効果が薄い。虐待は、子育て支援の一端として情報網を整えたい。学校での武道教育は、強要できない。

教育長

子供たちには、危険を感じたら「子ども110番の家」に駆け込めとの指導家庭には学校だより等を通じた情報提供など実施している。高齢者から、送迎ボランティアを募ることも、一方法と思う。



牛木 茂雄 議員

大和病院の赤字にどう対処するか。医師の確保はますます困難である。

医療・福祉・保健を一体化、地域医療を進めてきたが、介護保険以後の大和病院は「輝き」を失ってしまった。

「地域医療」の次の課題に、病院の追求は不十分だが、行政が課題を政策化してないのが問題だ。行政でなければ、できないことがあるのだ。

増加する高齢者
健康づくり

社会の問題点
等、原点に立ち、住民の中に課題を求めることが重要ではないか。
市長の見解を求める。

輝き失った

大和病院

◎ 医師確保なくして繁栄なし

市長

病院経営は城内病院を含めて大変な時代である。医師の確保なくして病院の繁栄なしと認識する。

個々に合った医療・福祉のサービスをどう構築するか検討課題だ。「地域完結型市政」を謳い、安心・安全な地域づくりの原点は当然医療であり、福祉を推

進し、健康づくりに努める。

大和病院の創設時の理念は素晴らしいものがある。できちんと受け継ぐ。

具体的な方向付けについてはもう少しお待ちいただきたい。必ず輝きをとり戻せるよう頑張らせていただく。



温泉施設を建て、 予防医療進めよ



松田 幸雄 議員

温泉施設の建設については旧大和町で議論した経過があり、単町での建設は困難であるとして、合併後の新市にゆだねられ、新市建設計画に盛り込まれている。

年々増大する医療費の抑制は国家的課題であり、介護保険制度の見直しなど「一次予防」の対策は極めて重要である。

健康増進法はそうした背景から生まれたもので、市民の健康意識を更に高め「予防は治療に勝る」の言葉どおり、温泉を活用した魅力ある健康増進施設の建設を前向きに検討すべきだ。



「八色の森公園」市候補地の1つ

市長

近隣三魚沼圏域には、類似施設が30ほどある。競合部分をどう考慮すればよいか。どのような内容の施設にするか。場所がこの場所でのいいのか、施設をどういう方向で運営されるか、ここが一番

問題点になるかと思う。地域審議会の意見も伺いながら、新市建設計画には盛ってある。問題点がいくつかあるので、それらをどう整理できるか。そこが一番の今後の検討課題だと認識している。

誰もが住みたくなる 南魚沼市を



健康づくり、スポーツに力点

牛木 智恵美 議員

予防重視による医療費
介護負担の軽減と子育て
支援を通じて住みよい市
づくりをすすめる、また観
光客の増を図って自治体
財源の安定を目指すべき。

検診の中で身体虚弱、
うつなどきめ細かく状
況を把握し改善を図る。
温泉を活用した療法と
パワーリハビリで介護
予防と軽減を。

誰でも楽しめるニュー
スポーツの振興。

いつでも、誰でも、制
限なく利用できる訪問
型一時保育サービスを。
地域の観光の中に温泉
療法を取り入れ生活習
慣病、ダイエットなど
の講座開設。



男性もヘルパー受講の時代に

市長

各集落で、転倒予防教
室を開催している。これ
の充実を図る。

精神、身体状況にリス
クの多い方には個別の介
護予防プログラムが必要
と思う。

「健康の杜」構想につ
いては、実現できる方向
で、話しを進めていきたく
い。また、これからは、
温泉療法、自然体験教室
等で、長期滞在客確保を
図っていきたい。

誰でも楽しめるスポー
ツということで、「ス
ポーツパラダイス」事業
がある。ニュースポーツ
の取り組みもしているの
で、更に広めていきたい。



笠原 喜一郎 議員

基幹病院建設が一向に
具体化してこない。10月
中に位置を決定するとの
約束も果たせないまま平
山知事は退任となった。

具体化しない理由は県の
財政状況の悪化にあると
思う。しかも水害、地震
の復旧事業が優先され事
業の見直しや遅れは必至
である。

被害を受けた十日町病
院の早期改築を願う署名
も始まっている。建設用
地は無償で提供することの
こと。こうした熱心な誘
致運動に比べて市長のこ
の問題への取り組み姿勢
は弱い。19年度建設開始
は無理としても、建設実
現に向けての決意を問う。

基幹病院

建設は大丈夫か

震災で、必要性もクローズアップ

市長

平山知事には退任前に
決定するよう、再三申し
入れたがかなわなかった。
震災の影響もあり、今年
中の決定は無理と思うが
(12月)24日に県庁に出
向く際、改めて要請する。
厳しい状況ではあるが、
こうした災害の後には逆に
「そういう施設が本当に
必要だ」という理解も進
むと思う。

PFIによる建設とか
厚生連による運営とか、
次の設立推進協議会には
出てくると思う。「必ず
建設する」と約束したい。
議会からの協力、支援も
願いたいところだ。

PFIとは

公共サービスに用いる建物等の
設計・建設・維持管理及びその事
業の運営の全部または一部に、民
間の資金や経営ノウハウ等を導入
する仕組みです。



石原 健一 議員

フリーマーケット
今年も3回実施され、
ようやく定着してきた
感があり、次年度も実
施が予定されている。
補助金を打ち切るとの
話もあるようだが、支
援を継続すべきと考え
る。市のイベントとし
て定着させるべきだ。
雪像・雪灯籠政策事業
緊急地域雇用創出特
別基金事業で、今年の
雪まつりに実施が予定
されている。観光事業
は継続性がないと効果
が薄いと考えられる。
雪まつり予算の中に計
上し、事業を継続すべ
きである。

イベント支援に

継続性持たせよ

〔答〕補助ありきからの脱却にも期待

市長

当初から3年間の打ち
切り補助での採択とい
う経過であり、この間
で自主運営ができるよ
う努力する。これが主
旨であるので、一応補
助は打ち切らせていた
だく。しかしやめると
いうことではなく、別
の事業や部分が出てく

れば市も対応したい。
今年には雇用創出事業で
100%補助で行うが来年
はない。自分達の商業
圏を守る考え方で、継
続を含め相談してい
きたい。イベントは補助
ありきでなく、自主的
に自分たちでやる気風
も持って欲しい。

観光



妖しい雪女も登場（六日町雪まつり）

「新たな基本計画」で 市の農政どうなる

〔答〕カギは「担い手」。育成に課題



牛木 芳雄 議員

「新たな食料・農業・
農村基本計画」をどのよ
うに捉え南魚沼市の農政
を持つていくか以下の点
について伺いたい。

最大の目玉である「品
目横断的な経営安定対
策」はどのようになる
か。また、対象者は何
人くらいか。
農業の担い手を明確に
し、集中、重点的に支
援をするとしているが、
何を基準に担い手とす
るか。
農地法改正で株式会社
の農業参入が現実化す
るようだが、市ではそ
の可能性は。

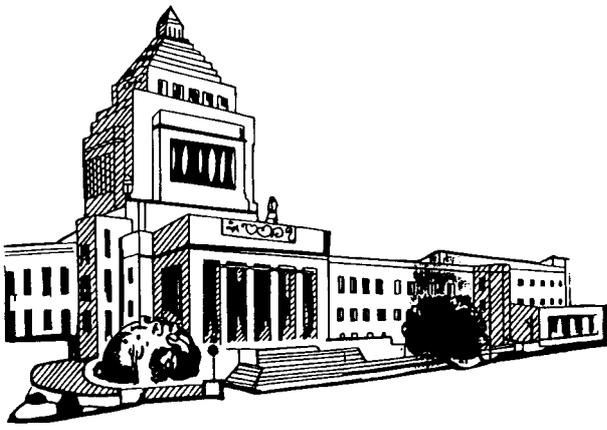
市長

水田作および、畑作こ
とに実施されている。
この助成を見直して経
営全体に着目し、安価
で輸入される外国農産
物に対応できる担い手
の育成を目指すものだ。
「担い手」の定義づけ
は来年度秋の制度設計の
段階まで先延ばしにな
るので、市で対象とな
る担い手の数は不明で
ある。
今のところ当市に予定
はないが後継者不足や、
遊休農地等を考えると
悪いことではない。た
だ厳しい条件が付く。

農業



ボクらは未来の担い手...かな？
（大巻小学校）



請願

WTO・FTO交渉に関する請願

- ・請願者
食とみどり・水を守る新潟県民会議 議長 目黒吉之助
- ・紹介議員
牛木 芳雄
- ・採決結果
全会一致 採択

平成17年度地方交付税所要総額確保に関する意見書

国の厳しい財政の中で地方への交付金が減らされるのを防ぐのが狙いです。

- ・採決結果
全会一致 原案可決
- 提出先 衆議院議長はじめ、各関係方面に提出しました。

WTO・FTA交渉に関する意見書

自由貿易により農産物の輸入が増え、国内農家が打撃を受けることへの対抗策を示したものです。

- ・採決結果
全会一致 原案可決
- 提出先 衆議院議長はじめ、各関係方面に提出しました。

意見書提出しました

大規模災害の対策と早期復旧に関する意見書

相次いだ水害、震災等への対応強化を、国に向けて訴える内容です。

- ・採決結果
全会一致 原案可決
- 提出先 衆議院議長はじめ、各関係方面に提出しました。

地方への負担転嫁を許さず真に三位一体の改革を求める意見書

「三位一体」の改革を、国の歳出削減だけでなく市町村の自立を高めるものとするための内容です。

- ・採決結果
全会一致 原案可決
- 提出先 衆議院議長はじめ、各関係方面に提出しました。

住民に身近な社会保険行政は自治体で実施することを求める意見書

国民年金の集金などを国から市町村に戻して、不払いを防ぐなどの内容。賛否は僅か1票差でした。

- ・採決結果
賛成多数 原案可決
- 提出先 衆議院議長はじめ、各関係方面に提出しました。

新潟県中越大震災に対する特別立法等の措置に関する意見書

中越地震への予算付けを「阪神大震災」並みにする法律整備が狙いです。

- ・採決結果
全会一致 原案可決
- 提出先 衆議院議長はじめ、各関係方面に提出しました。

この時期必見!!

どうなる? どうなる?

塩沢町との合併



やれやれ、
久々に充分
な雪に恵ま
れた雪まつ
りになったな。街中の通
りも、みことな雪灯籠が
ピツピツ並んだ。

サザン

アナタ
「オ六」サ
ンデスネ?
新聞で「天地人」読ん
デマス。漢字、ムズカ
シイケド、大体オボエタ
ネ。



サザンは
南・フィッ
シユは魚だ
ろ? で、
S W A M P は沼か?
なんだよ、「南魚沼」で
新市と同じ名前だぜ!

全国的に有名な雪の中
での祭りが、まだまだ続
くんだけ。

サザン

他二ドン
ナ祭りガア
リマスカ?
是非連レテッテ下サイ。



セツブン。
祭りニ裸オ
見合イ?..
随分ト大
胆ナ土地柄ミタイデスネ。

お六

かなり想像
力の逞しい
女の子みたいだな。ま、
来年の冬には、冬祭りの
三役が、「南魚沼市のお
祭り」として揃い踏みで
きそうなんですよ。



ハロー!
エクスキュー
ズミー。

お六

それにし
ても長え脚
だな..
あなたは一体、何者で
すか?

サザン

イエース。
ダカラ
魚沼米ノゴ
飯や地酒、大好キネ。ソ
レニ大雪ノ中デノオ祭り、
気ニ入りマシタ。



OK! O
美女のご
案内なら、
24時間、年中無休でお任
せあれ。

サザン

エッ! ド
ウイウ意味
デスカ?
塩沢町ガ、自分ノ町ノ
オ祭りヲ譲ッテクレルト
デモ?

お六

だ、誰だ
よ急に後か
らあ!!
うへえつ、カッコいい
外人さん!
な、何か俺らに用です
かあ?



「サザン
= フィッシユ
スワンフ」
デス。
国際大学デ政治学勉強
シテマス。

お六

それは結
構。何しろこ
れだけ大勢の人が住んで
る所で、こんなに雪の降
る場所は世界でも稀さ。

お六

そうじゃ
なくて、南
魚沼市と塩
沢町は、合併する方向で
本格的に動き始めたんだ。
ここに示した表の日程を
目安に、10月1日には人
口6万3千人余り、魚沼
最大の地方都市が生まれ
る見通しなんですよ。

第2回合併協議会	2月1日
合併協定調印	
合併議決。南魚沼市・塩沢町の3月議会	
6月県議会で承認	
総務大臣告示	
新生「南魚沼市」誕生	10月1日
市議選。10月中に実施	

合併へのスケジュール



浦佐西山より旧大和町を臨む

サザン

EU(欧州連合)トイ

ウ形デ、25ノ国ガマトマロウトシテイマス。超大国・アメリカニ対抗スルニハ、規模ヲ大キクシタリ、無駄ナ手続ヲ省クコトモ必要デシタ。



でも旧ユーゴのように幾つもの小さな国に分れた例もあるよね。



民俗ヤ宗教力違ッテマシタ。日本ハソノ点、マトマリ易イデスネ。

お六

それに日本では今、少子高齢化が極端に進んでる。将来の行政サービスの質を保つためにも、合併を進め

る必要があったよね。

サザン

「合理性」「独自性」ドコテ妥協スルカガ、21世紀ノ課題デス。私ノ国モ同ジネ。

お六

その通りさ。塩沢町では2年前に住民投票で「合併反対」の結論を出した。「編入合併」への理解も行き渡っているのかどう

サザン

受け入れル新市ノ声ハドウデスカ

お六

もともと3町合併で準備を進めた訳だから、大きな反対の声はないけど、塩沢町の豹変には不信感も残る。議会では「住民説明

会を市も開け」の声が強いね。

サザン

ヤッパリネ。トコロオリ3月二両議会ガ議決シテ、「10月1日合併」ガ実現スルト、議員選挙ハ何時ニナリマスカ?



10月中旬に、定数30人で行われる。塩沢議会

は3月改選だから、塩沢の議員は今年、2回の選挙を経験する人も多いよ。



ワタシノ夢、故国ヲ将来国会議員ニナルコトネ。ダカラ日本ノ地方政治ニ興味津々デス。日本トノ国際関係、深メタイネ。

お六

ところで国際関係もいいけど、「国際恋愛」なんかどうです? もちろん相手は、この俺らと♥♥!



考エテモイイケド、ドコカデ美味シイ日本料理オゴツテクレマスカ? 日本海ノカニ、大好キデス。



とほほ。どこの国でも美女はガツチリしているよなあ。

若い2人の力関係は、早くもこれで決まったようです。次回からの展開にご期待ください。

間前の大地震、お見舞い
南魚沼市誕生、約一週

新市政への思い

石田ヨリ子さん
(川窪)



申し上げます。忘れた頃にきて欲しくない天災です。雨降りの日に市議会の傍聴をさせて頂きました。旧2町の合併で、議員数を多く感じ、話した事のある議員さんに親しみを感じ、自分に5票あつたらと思えました。活発な質問、長い質問にも切れの良い市長の答弁に深い市民愛を感じました。20世紀は物の時代、21

世紀は心の時代だそうです。温泉観光、美味しい野菜と米、恵まれた環境などを若者の力や高齢者の経験を生かして、地域起こしのため「特区」が実現できたら、素晴らしいと思えます。市民に元気を与える議員さんの活躍に期待します。地球規模の環境を考える時、昔なら当り前の生ゴミを土に戻す事が、今

は石油で燃やして、ダイオキシンを発生させ、地球が温暖化してきています。人動植物が生きていくにはきれいな空気と水、肥えた土が大切です。市民も議会も一緒になって実現して欲しい課題です。ゴミを制する者は世界を制するといわれる昨今、それを実現させる議会に期待し、より透明度の高い市政を望みます。

市議会見たまま 感じたまま

中島 正樹さん
(大崎)



新市長の初めての議会で町づくりの方針を聴きたい思いで終盤の一般質問を傍聴した。当日は地震関連の質問が多く、結果として似た質疑が随所であり、当初の目的を満たすことはできなかった。止むない思いもあつたが、聞けば前日まで同じようであつたとのこと。行

政執行部から質疑時間に見合う新たな防災施策を引き出したのだろうか。今後の議会情報に留意したい。ただ、議員と行政執行部間の緊張感を感じる質疑のやりとりは、私に新鮮な思いを与えてくれた。合併で多くのメリットがある反面、失われるものも存在する。住民参加の意欲と機会の低下はそ

の1つであろう。議会への住民参加とは、議会に住民の意見や要求を伝達する活動を指す。その意欲の基本になる情報公開は、行政関係に比べて議会関係は遅れをとっている感がある。議会の更なる情報公開を推進し、住民参加の協働型町づくりの基盤の形成に努めていただきたい。



編集後記

「わかり易く正確に」を合言葉に取り組んだ編集作業でしたが、さてできればのほどは???

全ての作業を、口は達者でも書くのは苦手な9人の議員がやっています。



「着眼大局着手小極」

新市づくりの大きな視点に立ちながら、暮らしの中の身近な現実議論を深めていくという、議会本来の姿を伝え切りたいと、一同張り切っています。皆様のご意見を活かす、議会の窓口として頑張ります。市民各位のご意見、心待ちにしております。宜しくお願致します。(委員長・中沢俊一)

《編集委員(順不同)》

- 志太喜恵子
- 大久保栄一
- 関 進
- 松田 幸雄
- 森山 幸子
- 岩野 松
- 遠山 力
- 樋口 和人
- 中沢 俊一